

令和4年度プレス検査業者災害防止協議会 第2回幹事会 議事概要

1. 日時 令和4年9月5日(月) 14時～16時20分
2. 会場 仏教伝道センタービル3階 徳の間
3. 出席者
(対面)小森会長、中村幹事、山本幹事、佐々木会計監査、中島相談役
(リモート)太田(博)幹事、太田(剛)幹事、加藤幹事
欠席 篠原副会長、井上副会長、川口会計監査
事務局 常盤部長、齋藤次長、田村専門役、稲葉係長、青木
4. 資料
資料1 第1回幹事会議事概要案
資料2 過去の工場見学実施状況
資料3 令和4年度内部指導対象予定名簿
資料4 平成29年度特自検検討委員会名簿
資料5 既存不適合なプレス機械の安全化のための活動のご案内と都道府県労働局への周知のお願いについて
参考資料1 令和3年のプレス災害発生状況と送検事例、検査業者の行政処分
参考資料2 令和3年の労働災害発生状況
5. 議事
 - (1) 前回議事概要の確認
資料1の議事概要案を事務局が説明し、了解いただいた。
 - (2) 令和4年度工場見学の可否、代替案について
資料2の過去の開催例を振り返り、工場見学の実施が可能か議論した。募集をかけてどれくらいの参加申し込みがあるか疑問である、多数の見学者を受け入れる企業があるかわからない、県外からの見学者お断りというところもある、などから、今年度も工場見学は見合わせるという意見が多数を占め、中止することとした。
代替案として、検査業者検査員向けのリスクアセスメント勉強会の実施が小森会長から提案された。リスクアセスメントについて知りたいという意見もよく聞く。1日コースで、講義と討議によるものでどうか。
技術支援部の機械安全のリスクアセスメント、リスク低減の研修は、それぞれ2日間だがそこまで時間は取れない。プレス機械に内容を特化してリスクアセスメントリスク低減の手順を説明し、それら内容に関する討議を行うようなもの。例年実施している検査業者協議会の研修とは切り離して考えることとする。内容は中島相談役が教材案を作成し、事務局が協力して作成する。
教材案について臨時幹事会を開催し検討する。ここでの検討を基に確定版を作成、

12～1月に東京で実施する。臨時幹事会は11月初旬とする。

なお、事務局から工場見学代替案として、プレス協議会幹事会と日本フルハップ幹部との意見交換会を提案したが、意見交換そのものは意義あるものだが、工場見学の代替案とはならないとされた。

(3) 令和4年度内部指導について

資料3により、今年の対象予定を確認した。予定通り実施することとした。

(4) 特自検検討委員会について

資料4の、最近の開催である平成29年度の検討委員会委員名簿を確認した。組織をやめている方もあり、代わりとなる人材を聞いた。

その結果は次の通り。

- ・ アマダの委員 アマダで総会に来ていた方を通じ、小森会長から聞いていただく。
- ・ アイダの委員 井ノ上委員(平成29年度名簿にある方)のままとする
- ・ コマツ産機の委員 湊氏(プレス特自検で協議会へ意見を多数寄せている方)
- ・ ワールドメカニックスの委員 黒田氏(加藤幹事から確認いただいた。)
- ・ 小松委員長 お元気だと思うので連絡を取る。ダメなら西浦氏又は相澤鉄工所
- ・ 産業安全技術協会 石山さんに連絡を取る
- ・ 小森会長、中島相談役、しのはら伊藤さんは引き続きお願いする。
- ・ 大阪の人 フルハップに委員となれる人を小森会長から聞いていただく。

(5) 提案書の活動の行政への周知について

資料5の既存不適合なプレス機械について、特自検適合でも安全ではなく改善が必要とする提案書を提出する活動について、厚労省本省安全課に説明し理解を求めるとともに、都道府県労働局安全主務への周知を依頼する文書について意見を聴いた。

文章のつながりが良くない部分の修正意見等が出たが、内容全体については賛同が得られた。意見を基に文書の見直しをしたうえで、安全課に提出することとした。

(6) 参考資料について

参考資料について、中島相談役から説明いただいた。プレス災害は減ってはいるが、思ったほど減らない。減らない理由は、構造規格改正から10年ほどたつが、いまだ使用されているプレスの8割が構造規格改正前に製造されたものであることが影響していると思われる。

(7) 次回臨時幹事会について

出席委員に予定を確認した結果

第1候補 11月2日(水)

第2候補 11月8日(火)

となった。欠席委員の予定を聴き、日程を決めることとした。